

春日部駅付近の鉄道高架で踏切ゼロ！の推進

埼玉県 県土整備部 道路街路課

1. はじめに

埼玉県では、令和元年度から東武鉄道伊勢崎線・野田線（春日部駅付近）連続立体交差事業に着手しています。

この事業は、春日部駅を中心に東武鉄道伊勢崎線を約1.4km、東武鉄道野田線を約1.5kmにわたり高架化するもので、10箇所の踏切が除却されます。

この事業の実現により、都市交通が円滑化されるとともに、地元自治体である春日部市が周辺まちづくりを進めることで、地域の活性化や中心市街地の一体化が図られます。

本稿では、この連続立体交差事業の取組状況について御紹介します。

2. 現状及び課題

春日部市は埼玉県の東部に位置し、人口約23万人を擁する東部地域の拠点都市の一つに数えられ、「大風まつり（毎年5月開催）」やテレビアニメ「クレヨンしんちゃん」の舞台となったことでも有名です。

春日部市の中央に位置する春日部駅は、東武鉄道伊勢崎線と東武鉄道野田線の2路線が結節する乗換駅であり、1日に約5.8万人（コロナ前は約7万人）もの乗降客が利用しています。

この鉄道の利便性により春日部駅周辺は大きく発展しましたが、中心市街地が鉄道で分断されていることによる支障も生じています。

春日部駅付近にて歩行者が線路の反対側に移動する場合、駅構内が通行できないため、駅北側に約600m離れた踏切を渡るか、駅南側に約500m離れた地下通路を利用することになります。

駅北側の踏切は、ピーク時には1時間のうち53分間も遮断しているいわゆる「開かずの踏切」であり、また、駅南側の地下通路は幅員が約3mと狭く、バリアフリー化に未対応なため、高齢者やベビーカーの利用者等には利用しにくい環境です。

そのため、地域の人々や来街者の円滑な移動、商業・業務活動の活性化を妨げ、更なるまちの発展の課題となっています。



駅北側の開かずの踏切（伊勢崎線124号踏切）



駅南側の地下通路（富士見町地下道）

3. 事業概要

この課題を根本的に解決するため、埼玉県が事業主体となり、春日部市及び東武鉄道株式会社とともに春日部駅付近で連続立体交差事業を進めています。

また、この高架化工事に併せて、埼玉県や春日部市が駅周辺道路を整備し、東武鉄道株式会社が輸送改善として駅のホームと線路を増設します。

事業名	東武鉄道伊勢崎線・野田線連続立体交差事業（春日部駅付近）	
路線名	東武鉄道伊勢崎線 （東武スカイツリーライン）	東武鉄道野田線 （東武アーバンパークライン）
区間	春日部市南一丁目 ～春日部市粕壁四丁目 （内谷陸橋付近～古隅田川付近）	春日部市粕壁字八木崎 ～春日部市南一丁目 （八木崎駅付近～内谷陸橋付近）
延長	事業延長 約 1.6km 高架延長 約 1.4km	事業延長 約 1.9km 高架延長 約 1.5km
除去踏切	10箇所（内、開かずの踏切 4箇所、ボトルネック踏切 1箇所）	
駅施設	春日部駅 3面7線（現状）⇒ 4面8線（整備後）	
構造形式	高架式（嵩上式）	

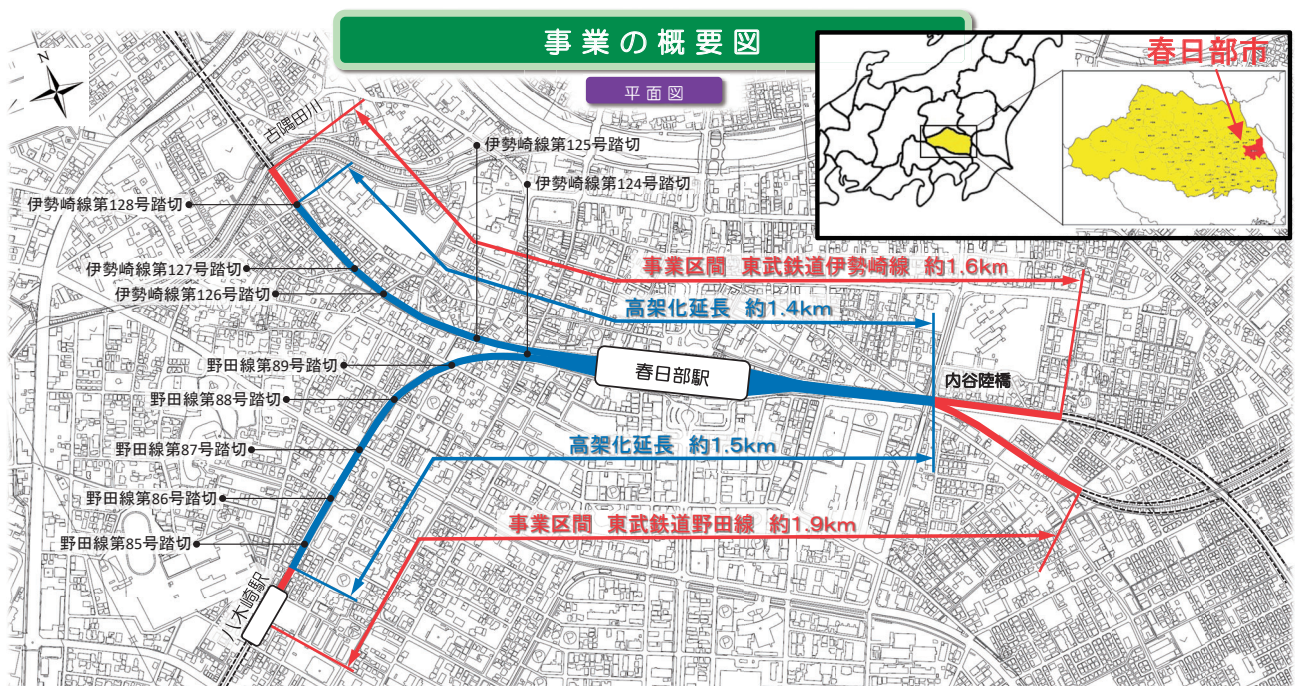
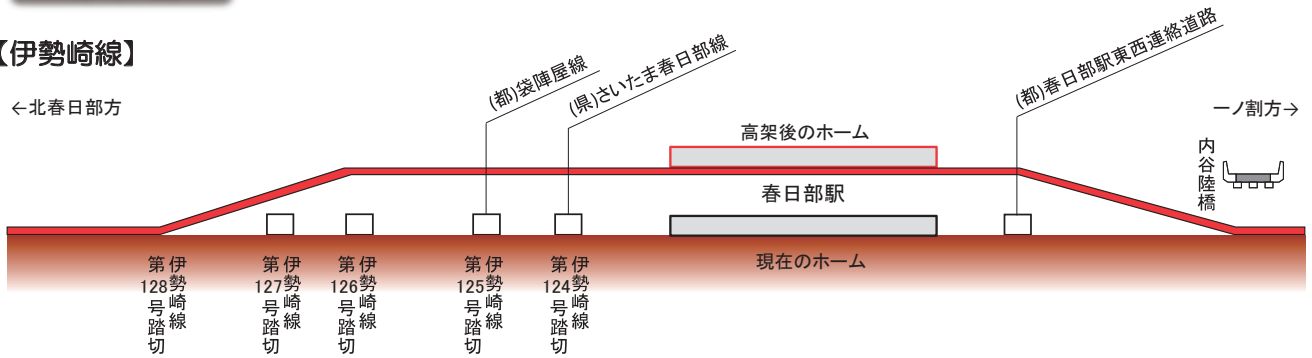


図1－事業概要図（平面図）

縦断図

【伊勢崎線】

←北春日部方



【野田線】

八木崎駅

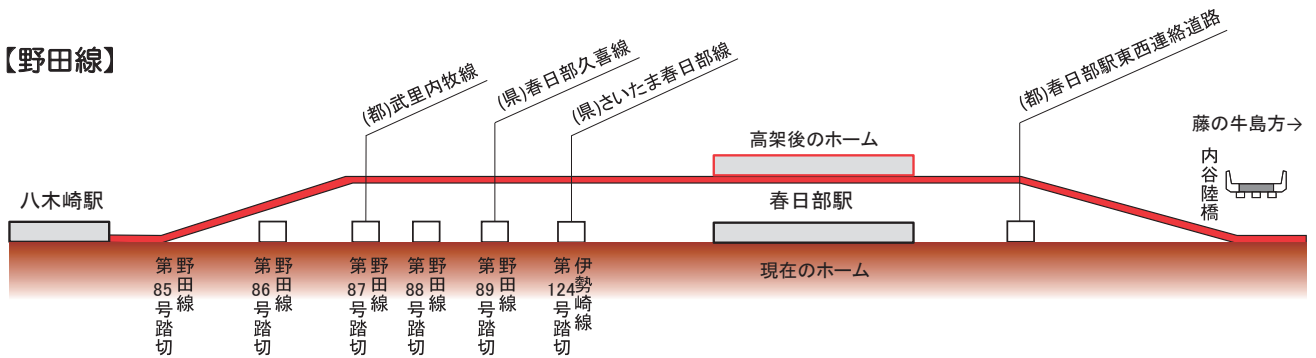


図2-縦断図

4. 事業効果

本事業の実施により、開かずの踏切、ボトルネック踏切、狭隘な地下道等が除却され、春日部駅周辺の交通の円滑化、移動時間の短縮、歩行者・自転車の平面移動と安全性の確保が図られます。

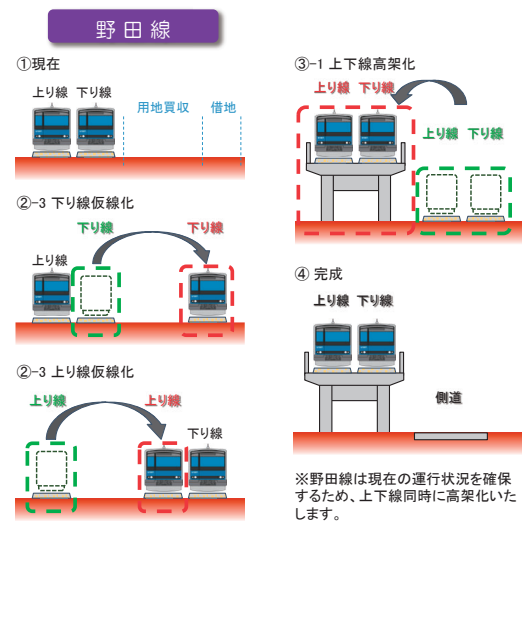
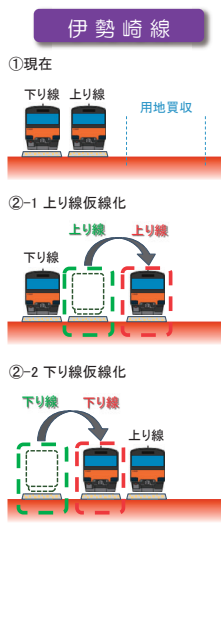
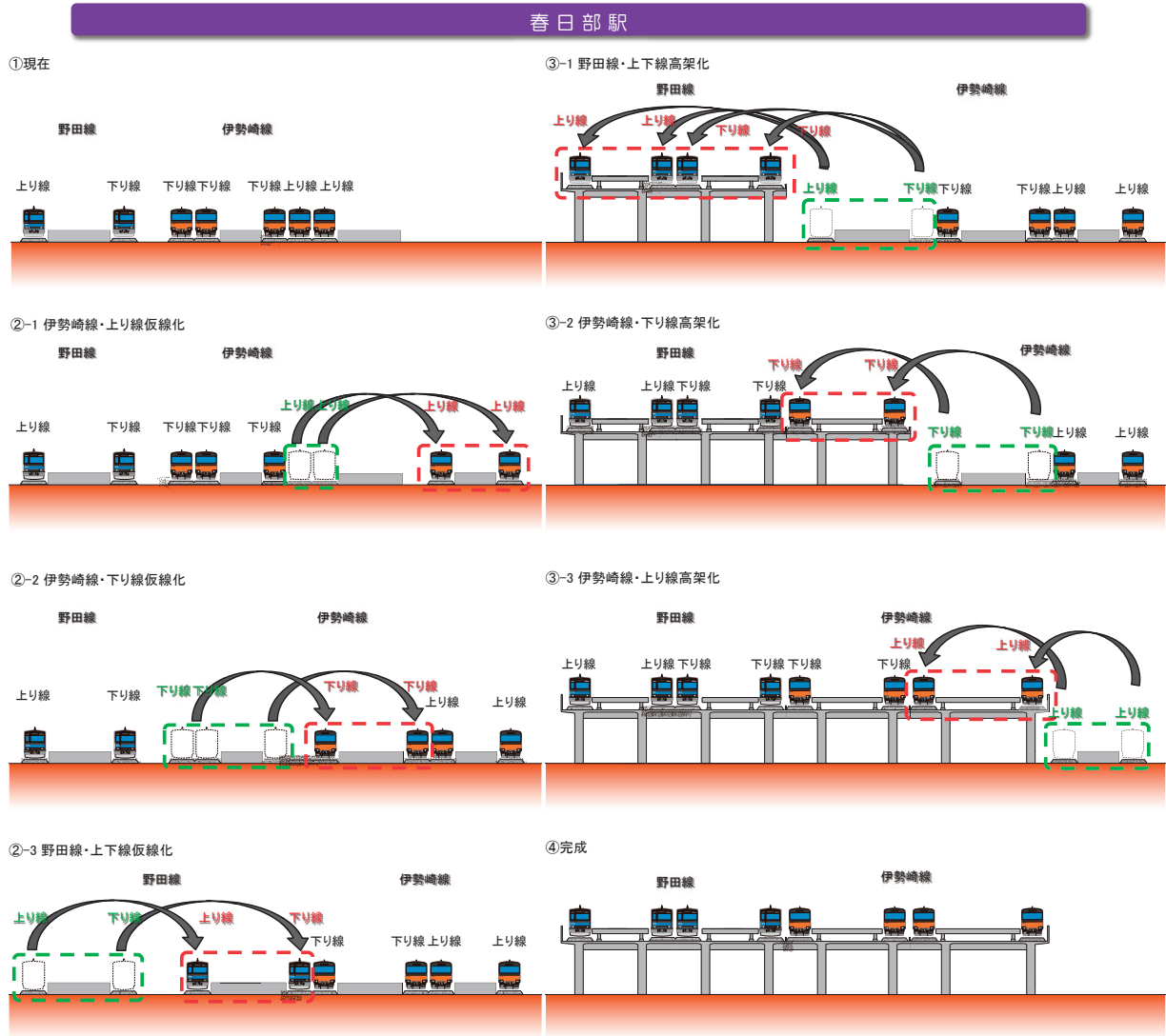
また、鉄道の立体交差化により市街地の分断が解消され、春日部市が行う周辺まちづくりの取組との相乗効果で、春日部駅周辺に新たな賑わいが創出されます。

5. 工事について

本事業は市街地で行うため、限られた用地内で効率的に進める必要があります。

そのため、既存路線の隣に仮の線路を設置し、確保したスペースに順次高架橋を設置する仮線工法を採用しています。

(1) 高架化工事（仮線工法）の施工順序



(2) 最近の工事状況

東武伊勢崎線の上り線（浅草方面行）の仮線工事と春日部駅東口仮駅舎工事等を実施しました。

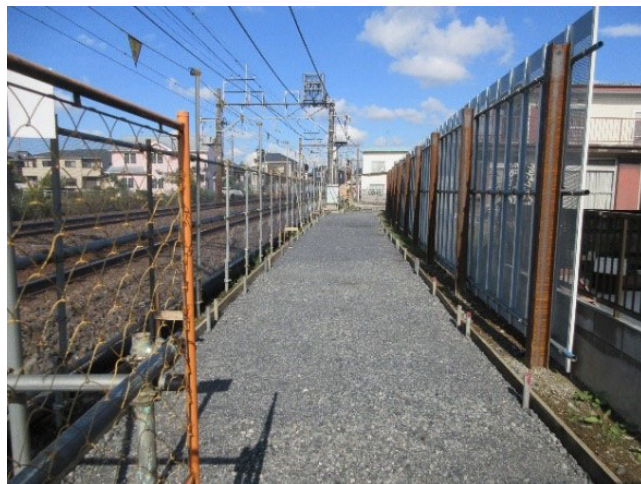
○ 東武伊勢崎線上り仮線路盤工事

東武伊勢崎線上り仮線路を整備するため、線路下の路盤工事を行っています。

今後、構築された路盤の上に採石、杭木、レール等を敷設し、仮線路を完成させます。



仮線路盤施工状況 1

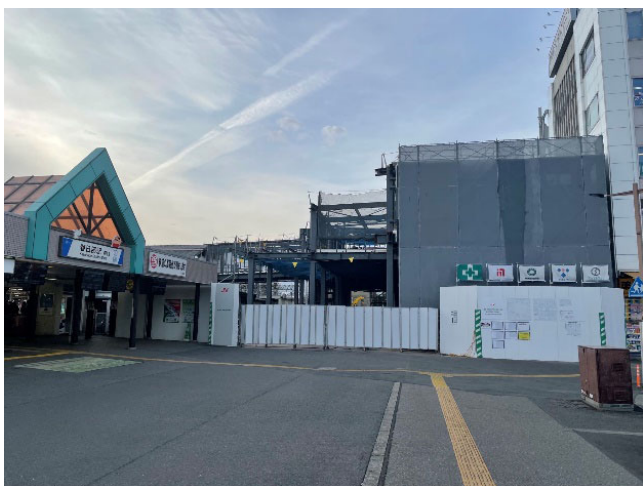


仮線路盤施工状況 2

○ 春日部駅東口仮駅舎工事

東武伊勢崎線上り仮線路及び仮ホームの設置に伴い、支障となる既存の春日部駅東口駅舎の代替として仮駅舎新設工事を行いました。

令和5年2月に東口改札・駅事務室や定期券販売所などの施設が入った仮駅舎の供用を開始しました。



仮駅舎（施工状況）



仮駅舎（完成・供用開始）

6. 最後に

東武鉄道伊勢崎線・野田線（春日部駅付近）連続立体交差事業の整備効果は、春日部駅付近の課題を解決するだけに留まらず、県東部地域全体の発展にも寄与するものです。

また、これまで事業化に長らく期間を要したことから、市民、県民の皆様は一日でも早い完成を望まれています。

引き続き、事業主体である埼玉県、事業に併せてまちづくりに取り組んでいる春日部市、高架化工事を実施する東武鉄道株式会社の3者でしっかり連携して、早期完成に向けて事業に取り組んでまいります。



春日部駅全景（北春日部方から撮影）